

元気の出る情報・交流誌

手をつなぐ

2025

11月

No.837

特集

やってみる? やってみた! キャラバン隊

今月の問題 — 公平・公正な選挙を実現するために

ひびき — 忍足亜希子(俳優)



CONTENTS

手をつなぐ

2025.11 [No.837]



表紙絵「キリン」

■中本朋春(なかもとともはる)

36歳

■奈良県北葛城郡広陵町

ひまわり学園自立訓練校

■作者からのひとこと

ぼくは絵を描くのが好きです。生活の一部にもなっています。生き物や乗り物が好きなのでよく描きます。最近ではペンを使って描くのも気に入っています。

できないんじゃない やらせていないだけ ～親が変われば子は必ず変わる～ [第2回]
診断の絶望、そして出会い 石村和徳

02 わたしたちも言いたい

太陽の塔を見て 村井 誠

05 視点いろいろ 気持ちいろいろ みんな、まる。[第2回]

今日、なに着ていく? 津島つしま

07

特集

やってみる? やってみた! キャラバン隊

全国で活躍するキャラバン隊

08 ・「花bee」の仲間とともに、誰もが安心して暮らせる社会を目指す 秋村加代子

09 ・「秋田でもやりたい!」から始まった、わたしたちのキャラバン隊 平野正子

10 ・熊本弁と笑顔にあふれる楽しい雰囲気が一番の魅力です! 西 恵美

11 ・笑いは最強の啓発だ! ネタ修行の毎日です 工藤知子

12 ・相手の気持ちを想像する授業 あび隊・ぼこぼこ隊との4年間 畠藤 晃

13 ・障害のある人への合理的配慮に対する理解促進の取り組み 小野寺善紀

キャラバン隊まるわかり相談室

14 ・Q&A 啓発キャラバン隊推進委員会に聞いてみよう! 矢野一隆

受け取って、キャラバンのボタン! 想いがつながり、各地で生まれたキャラバン隊たち

18 ・"The die is cast." 賽(さい)は投げられました 中島義典

19 ・止まっていたボタンを、もう一度。「せとっこキャラバン隊」再始動 池戸智美

20 ・次世代へ、あび隊魂を伝える研修会 中尾美恵

広がる啓発の輪 差別のない社会をめざして

22 ・障害者差別解消法の改正などをふまえた啓発キャラバン隊の重要性 関哉直人

24 ・迎賓館赤坂離宮から広がる共生社会の輪

26 ・キャラバン隊が伝える「自立」の本当の意味 坂井 聡

29 今月のオススメ

30 ひびき

ろうの世界をリアルに表現して 忍足亜希子

33 こつこつ進めば大丈夫。～思いが届くコミュニケーション～ [第5回]

特別支援学校の教員の立場で 認定NPO法人こつこつ

34 今月の問題

公平・公正な選挙を実現するために

38 あなたの街の育成会

広域の育成会間連携について 飯塚 聡

40 くらしを支える福祉の制度 [第57回]

成年後見制度について その3 ～制度改正の方向1～ 又村あおい

42 中央の動き

成年後見制度の改正に関する中間試案が公表されました (その3)

45 ニュースのじかん

ココいきたい! [第2回]

「クワイエットアワー」実施中! 埼玉県こども動物自然公園

太陽の塔を見て

千葉県 村井 誠

私は7月に2泊3日で大阪・関西万博と

太陽の塔を巡るツアー旅行に参加した。

関西万博では10のパビリオンを見学した。

どれも映像主体の展示で感銘を受けなかった。

印象に残ったのは、50年以上前の旧万博で使われた太陽の塔だ。

その素晴らしい姿を一望してさすが岡本太郎だと思った。

塔内部の見学ができた。



生命の樹が中心にあつて、その周りの螺旋階段を天上にいくように登った。

生命の進化がテーマで様々な生物のオブジェが下から上へと配置されていた。

最上段で私が見たのはネアンデルタール人だった。

岡本太郎さんは現生人類が進化の最終点ではなく

今まで我々が教えられてきた進化論すらも

真実ではないと

我々に問いかけているのではないか。

塔の内部の異様な空間に

しばらく身を置いて別次元を感じていた。



「わたしたちも言いたい」ではみなさまからのお便りを募集しています（宛先は48ページ）。
生活のこと、仕事のこと、暮らしのことなどふだん感じていることを書いてお送りください。

やってみる? やってみた! キャラバン隊



「知ってもらいたい」「変えていきたい」そんな思いから各地で動き出したキャラバン隊。

今回は、知的障害のある人や家族、支援者たちが自ら一步を踏み出し、学校や地域、行政を巻き込みながら行ってきた啓発の取り組みに注目します。

どんなふうにしたの? どうやって伝えているの?—

現場での工夫や仲間との試行錯誤を通じて、
「伝えること」の力と楽しさをあらためて見つめます。

イラストレーション 高村あゆみ

全国で広がりを見せています。
前向きに楽しむ雰囲気をお届けします。

全国で活躍する
キャラバン隊



市議会委員の方たちの研修。
参加者のみなさんの笑顔に、
こちらまで元気をもらいました。



小学校での体験講座。
子どもたちが積極的に手を挙げてくれて、
「知りたい」という気持ちが伝わってきました。

おそろいのユニフォームで
今日も出発。
ロゴとともに、私たちの
想いも地域へ届けています。



滋賀県
近江八幡市

「花bee」の仲間とともに、
誰もが安心して暮らせる社会を目指す

発達障がいと知的障がいのある人の疑似体験型
啓発キャラバン隊 花bee 秋村加代子

私たち「花bee」は、今年で活動7

年の想いが届いていると感じます。

年目を迎えます。発足のきっかけは、当時、特別支援学校を卒業する子どもたちが作業所不足で行き場を失うという地域の課題を知ったことでした。地域に理解が広がれば、誰もが暮らしやすいま

「やってみたい」の
声を増やしたい

になる——そんな思いを抱いていた時、兵庫県たつの市のキャラバン隊「ぴーす&ピース」さんに出会い、その活動に心を打たれ、近江八幡市で活動する保護者団体に声をかけ、活動を始めました。

感覚過敏や読み書きの困難など、日常の「生きづらさ」を体験できるよう、「ぴーす&ピース」さんのプログラムを

ある研修では「実は私、当事者です」と打ち明ける方もいました。自分の生きづらさの理由が分かり、勇気をもらえたと思いをいただきました。また、小学校低学年の女の子が、特別支援学校に通うことになった友達との思い出の絵を描いてくれたこともあり、うれしさと同時に、進まないインクルーシブ教育へのもどかしさを感じます。

もとに、私たちらしさも加えた体験講座を学校・企業・地域で実施しています。リピート参加者からは「同じ体験でも新たな気づきがある。何回受けても勉強になります」との声も。体験前は難しい表情だった参加者が、やがて笑顔で隣の人と話す姿を見ると、私

参加者が「知る」だけでなく、「自分にもできることがある」と気づき、日々の関わりを変えていく。その積み重ねが、地域や社会の理解を広げていることを実感しています。これからも「やってみたい」の声を増やし、誰もが安心して暮らせる社会を目指して、「花bee」の仲間とともに活動を続けます。